

NPO 自立化支援ネットワーク・アウトドアクラブ
Inter Depending Network・Out doors Club
Takaokai

たかお会 第132回活動
「古代蓮とさきたま古墳群サイクリング」報告書
2019年7月4日(木)実施

2019.7.2 テレビでは、「自らの命を自ら守らなければならない状況が迫っている!、危険が迫っています!」と連呼していた。九州地方の梅雨前線豪雨である。関東地方も7月3日~4日にかけて豪雨が予想されて、サイクリングどころではない。しかし、よ~く予報を聞いていると、埼玉県あたりは、激しいのは4日午前中の早い時間、お昼には雨が上がる。ならばと急遽企画変更!、すなわち自転車からバスへ(掬やぶりのバス利用だ!)。早速、メールにてサイクリングからバスと徒歩へ変更をお知らせ。もちろん参加辞退も受け付けると記した。

7月4日(木)JR行田駅へ到着すると、傘も効かない豪雨、にもかかわらず、参加8名が集結。よくぞ参加してくれたと感謝でいっぱいであった。予定通り9時55分発の「古代蓮の里」行きシャトルバスに乗車。到着すると雨はまだ降ってはいたが、予報どおり弱まってきていたので、さっそく園内を散策。ちなみにここは無料である。行田市ふとっばら!。1,300年~2,000年前の蓮の種から奇跡的に芽を出したとのことで、雨に打たれてはいたが、鮮やかなピンクが印象的、実に清楚ですがすがしい。思い思いに、蓮の花を楽しんでいると、皆さんから蓮と睡蓮の違いやら、ヨーグルトの蓋がきれいなのは、蓮の葉の構造を応用したものだが、蘊蓄が披露された。ひととおり鑑賞したところで、売店わきで昼食、うどん食べたり、持参した弁当などで空腹を満たした。気が付けば、予報どおり雨は上がっていた、気象庁恐るべし!

午後は、園のとなりにある「田んぼアート」の”今”の姿を拝見。すでに田植えが終わっているが、なんの絵かは判別できない。9月上旬には見事な田んぼアートになるだろうと期待しながら後にした。本来走る予定だったサイクリングロードを、歩いて「さきたま古墳群」へ向かう。

しばらく進むと、彼方に小山のような古墳が見え始めた。最も高いと言う「丸墓山古墳」に登ると、遠くに「忍城」の天守閣が見えた。雨がぽつぽつと来たので、ほど近くにある「さきたま史跡の博物館」へ。大人200円、中に入って分かったが国宝が展示されて、係りの人が案内や解説までしてくれる、200円は高くはないと思う。

国宝「金錯銘鉄剣」はこの稲荷山古墳から発掘されたもので、我が国の古墳国家の成立を読み解く貴重なものらしい。

博物館の近くには「埼玉県名発祥の碑」などもあって興味深いね。雨も強くなって来たので、すぐ前のバス停から「行田市循環バス」でJR行田駅へ、駅前のお店で、懇親会となった。居合わせた行田市の方々とも話がはずみ楽しいひと時となった。雨に祟られたが、総務幹事の「雨のたかお会も、いいもんだね!」の一言が救いとなった活動でした。

(以上)

企画幹事 小松